活気ある若手集団

掛川産業人クラブ

概　要

◇２０１０年（平22）11月11日設立　会員数１７人
◇事務局所在地 ＝ 浜松市中区中央１の18の４ウィステリアピーク204号（日刊工業新聞社浜松支局内）
◇電話 ＝ ０５３・４５４・７４９６

特集・挑戦する日本の経営者たち

会長インタビュー

〝形に残る〟モノづくり目標

相良　貴史 氏

（相良製作所社長）

―４月に榛葉貴博前会長（榛葉鉄工所社長）から会長職のバトンを受け継ぎ、２代目会長に就任しました。

「榛葉前会長が初代会長として、活動の基本方針策定や関係者の方々へのあいさつを終えてくれました。おかげで関係者の方々には掛川産業人クラブは『やる気のある若手経営者の集団だ』と伝わりました。私も設立時から副会長として榛葉前会長を支えてきました。とても良い形で会長を継がせていただくことができました」

―掛川産業人クラブは若手経営者が中心ですね。

「当クラブは２０１０年11月に設立しました。静岡県掛川市とその近隣市町の17社の若手経営者や後継者で構成しています。設立時の平均年齢は40歳を切る若さでした。会員を募集する時には、金属加工関係などの工業系に絞り、地元で特にやる気のあるメンバーを意識して集めました。参加条件は今も、50歳未満の経営者としています。自分たちが50歳になるまでに若手を入れて活動を引き継いでもらい、われわれが卒業するのが目標です」

―参加者の業種を工業系に絞った理由は何ですか。

「集まった40歳前後の経営者は、地元の商工会の青年部などで異業種交流の経験は十分しています。皆がそろそろ青年部を卒業する年齢になり、実業に生かす上で本当に役立つ人脈や情報交換をしたいと思っていました。その交流の場に産業人クラブが最もふさわしいという話になり、今に至っています」

―今後の活動方針についてはいかがですか。

「せっかく製造業で集まったのだから、何か皆で取り組めるモノづくりをして、販売までできれば最高だなとは考えています。これは設立当初から皆が言っており、実現に向けて少しずつ前進しているところです」

―具体的にはどんな取り組みをされているのですか。

「プロジェクトチームを二つ作り、全日本製造業コマ大戦のコマ作りと、小型発電装置の研究に取り組みました。しかし全員が同じテーマで何かに取り組んで、事業化するところまで実現するのは大変難しいです。まずは簡単なことでも良いので、形に残るものを一緒にやりたいです」

―売り上げに貢献しなくても形に残ってアピールできる成果があれば、社員の士気向上につながりそうですね。

「このプロジェクトは社員のやる気や眠っている可能性を引き出すのに、とても良い取り組みになるのではないかと思います。単なる部品加工では得られないものがあるでしょう。今後、会員と話をしながら、内容を決めて実のある活動にしていきたいと考えています」

産学官で強い連携体制

個性的企業 訪問 経営方針 刺激に

静岡県掛川市と、その近隣市町の若手経営者や後継者で組織する掛川産業人クラブ（相良貴史会長＝相良製作所社長）は、２０１０年11月11日に設立した。会員の平均年齢は約40歳。17人が参加し、活気に満ちあふれた活動が自慢だ。３年に満たない活動期間ながら、その存在感はしっかりと高まりつつある。

■設立の経緯

10年６月に高田直由樹中遠熱処理技研社長と、後に掛川産業人クラブの役員となる５人が集まり、産業人クラブ設立に向けた検討を始めた。高田社長を含む役員はこれまで地元の異業種交流会などに参加し、多くの場で良く顔を合わせていた。

しかし互いの企業に関して、意外に知らない点が多かった。そして産業人クラブなら互いがもっと良く理解でき、実業に生かす上で役立つ人脈づくりや情報交換、さらには協業など、より深化させた活動ができると意見が一致した。

以後、毎月のように会合を重ね、どのような組織にするかを討議。組織としてまとまるまで、しばらくは地域を限定することや、会員は同じ製造業で同世代を中心とすることなどが決められた。

定年制も導入した。掛川産業人クラブは会員が49歳となった年度末をもって卒業することとなる。これは若い世代が遠慮なく発言し、各自がやりたいことを思い切りできる場にしようという考えから生まれたものだ。

９月には設立説明会を実施した。やる気のあるメンバーで構成したいと、それぞれの役員が２、３人に声をかけ、掛川市周辺の牧之原市や菊川市などからも参加者が集まった。

2010年に40代が中心となって設立した

■活動スタート

11月には設立総会を開いた。初代会長には、榛葉貴博榛葉鉄工所社長を選出。「激動の時代に誕生した掛川産業人クラブは会員各社にとって大きな役目と期待を担っている」（榛葉社長）と決意と抱負を語った。来賓には松井三郎掛川市長や伊東幸宏静岡大学学長、荒木信幸静岡理工科大学学長を迎え、産学官の強い連携体制が整った。

活動を始めるにあたり、海外・国内の企業視察、技術や財務セミナーなど、多岐にわたる要望が集まった。これら案件の中から、まずは取り組みやすいものをと始めたのが企業視察だ。

視察は会員が身近に感じられ、参考にできる個性的な中小企業を中心としている。初めての訪問先企業は、工作機械や航空機の部品加工を手がけるテクニア（名古屋市中川区）。クラブ会員と同世代の社長の下、会社が夢に向かって一丸となって突き進む姿や、独自の技能伝承プログラムに会員たちは大いに関心を持っていた。

金属加工を中心とする齋藤工業（愛知県武豊町）では、高度な職人技を駆使した炭素繊維強化プラスチック（ＣＦＲＰ）やマグネシウム合金、チタン、インコネルなどの加工技術に圧倒された。参加した会員は「当社の５年先を行っている」と驚きを隠さなかった。

また樹脂の化粧品や文具の容器を生産する本多プラス（同新城市）では、これまでのブロー成形を主体に、企画、コンセプト・デザインの提案で業態を大いに広げ大躍進する姿に「嫉妬した」と会員も語るほど。その考え方や経営方針に刺激を受けていた。さらに会員企業同士の工場見学も実施している。独自技術や製造現場の工夫など「まさに灯台もと暗し」だと評判は高い。

新興国台頭・海外シフト加速 ピンチをチャンスに

東京・多摩、新潟と合同イベント開く

■地域間交流

掛川産業人クラブ誕生の約１カ月前に、東京・多摩地域で「多摩産業人クラブ」が設立された。同時期に同世代の経営者が設立したということもあり、交流が始まった。

11年２月に多摩、新潟産業人クラブが掛川を訪れ、13年６月には「若手経営者ｉｎ多摩」として多摩、掛川、新潟の３産業人クラブが集結した。多摩の会員４社を見学し、スズキやヤマハ発動機の企業城下町といえる掛川市を含む静岡県西部地区との違いや「多摩の会員の高い技術力、経営手腕などが参考になった」との声が多く聞かれた。

建設機械関連企業が数多く存在する石川県との交流も活発。業種の違いから数多く学ぶことがあるのではないかと始まったのが「石川県鉄工機電協会青年部会」との交流だ。

11、12年と同青年部会の企業訪問や、同協会が主催する機械工業見本市金沢（ＭＥＸ金沢）を見学。12年の同展示会の青年部会ブースに掛川産業人クラブのコーナー（写真）が設置されるなど、交流の輪は広がりつつある。14年３月には、同青年部会が掛川を訪れる予定だ。

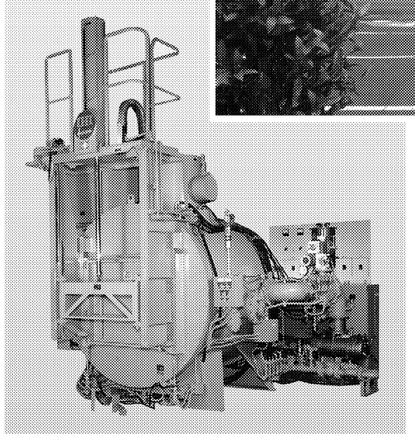
「石川県鉄工機電協会青年部会」とも交流。昨年は青年部会ブースに掛川産業人クラブのコーナーを設置

■新体制へ

13年４月、任期満了に伴い、相良貴史相良製作所社長が新会長に選出された。榛葉前会長は役員に残り、副会長には高野太作産栄工業社長、理事に高田直由樹中遠熱処理技研社長、理事兼監事は、伊藤友和サンエイ社長と小林永典コプレック社長が就任した。

新興国の台頭、電気自動車（ＥＶ）やハイブリッド車（ＨＶ）の登場、大手企業の海外生産加速などで、掛川産業人クラブの会員は大きな転換期を迎えている。逆風が吹き続ける中ではあるが、若さあふれる会員は、ピンチをチャンスに変え、各企業がさらに元気に発展しようと奮闘中だ。

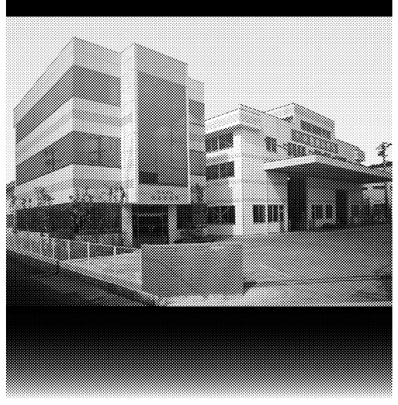
真空熱処理炉
増設稼働中!!



営業品目
● ガス軟窒化
● 浸炭焼入、浸炭窒化
● 真空熱処理
● アルミT2～T6
● 焼入焼戻
● 光輝焼鈍、焼準

株式会社 中遠熱処理技研　〒436-0083 静岡県掛川市薗ヶ谷840-1
TEL（0537）24-5566（代表）　FAX（0537）24-5567
URL http://www.chuen-ht.jp　E-mail takada@chuen-ht.jp

SINCE
1905
金型製作　板金プレス　アセンブリー



ものづくりを究めて、すべての社員に喜びを、
すべてのお客様に満足を提供する。

株式会社 相良製作所
代表取締役　相良　貴史
〒436-0083 静岡県掛川市薗ヶ谷844-1
TEL（0537）22-7281㈹
FAX（0537）24-7289
www.sagara-ss.jp

COPREC

精密板金加工
試作から量産までの一貫生産で、
製品立ち上げの時間短縮に貢献します。

充実した設備
タレットパンチプレス・レーザー加工機
AMADA EM3510-ZRT+Takeout Loader
AMADA EM3510-Z+Takeout Loader
AMADA EM3510-Z+Takeout Loader
AMADA EML3510+Takeout Loader
AMADA EM2510NT　AMADA VPZ358NT
AMADA FO2412NT /3.6kw　AMADA FO2412NT /2.0kw
Fladder AUT-1000VAC
ベンディングマシン
AMADA ASTRO-100NT　他8台
その他溶接設備など多数

株式会社 コプレック
代表取締役社長　小林 永典
〒436-0222 静岡県掛川市下垂木2361
TEL 0537-24-5280　FAX 0537-24-3743
http://coprec.co.jp